



猶興館 東京同窓会会報

発行:平成28年4月1日
 発行者:猶興館東京同窓会 会長:大石郁夫
 事務局:〒193-0813 東京都八王子市四谷町613-5
 共立リライアンス四谷V B-503
 株式会社松元保険事務所内
 TEL.042-627-3190 FAX.042-627-3191
 ◆ホームページ:http://yukoukantokyo.net/

雷海 Rai Kai

当社の4つの特長

- 安全・高品質な施工
- 昭和48年創業以来の実績
- 社員のほとんどが有資格者
- チームワークが生む効率施工

玄海電設工業株式会社

代表取締役

大浦 清志 (昭和36年卒)

本社

〒299-0102 千葉県市原市青柳81-1

TEL 0436-23-8246

FAX 0436-23-8237

広げよう地域を超えた猶興(友好)の輪

繋いでいこう次の世代へ

猶興館東京同窓会会長 大石郁夫(昭和四二年卒)



平素よりの皆様方の本
 同窓会活動に対するご厚
 情ご協力に対し、心より
 御礼申し上げます。

昨年1年間の当同窓会
 会長としての活動を振り
 返りますと、10月1日に
 開催された平戸市市制施
 行(平成17年の市町村合
 併)10周年記念式典等、
 諸々の関係団体主催の数
 多くの会合やイベントに
 ご招待いただき、各界で
 ご活躍の方々とお会いし、
 懇談する機会に恵まれま

した大変光栄に存じ
 ております。それと同時に
 当同窓会会長の重責を改
 めて感じた次第でござい
 ます。

さて、もうじき当同窓
 会総会・懇親会の時期が
 巡ってまいります。昨年
 は、初の試みとして、関東
 地区の同窓生に限らず、
 広く関西以東在住の同窓
 生の皆様にご案内をさし
 あげました。

お陰さまで、関西・中京
 地区等在住の同窓生のみ

ならず、平戸を始め九州
 各地からも多くの同窓生
 に駆けつけて頂き、大変賑
 やかで意義ある懇親会と
 なりました。

この総会・懇親会のテ
 マは世代・地域を超えた
 同窓生の輪を、平戸・猶興
 館というキーワードを中
 心軸に据えて広げていく
 ことにあります。それを通

して出席者一人一人が郷
 土・母校との繋がりが、同窓
 生としての絆を少しでも
 意識し、深める一助となれ
 ば幸いです。

今年は昭和57年卒業の
 諸君が年次幹事として懇
 親会の企画・運営を担当
 してくれそうです。

彼らは同期生同士の結
 束力が強く、企画力・組織
 力に優れた集団です。20代
 40代同窓生との交流会
 を毎月先頭に立って開催
 し、本同窓会活動の裾野
 は回を追うごとに広がり、
 今年の総会が楽しみです。

皆様方も是非ご期待下
 さい。会場でお会い出来る
 事を楽しみにしています。

猶興精神ととも

猶興館高等学校校長 林田 亮



猶興館東京同窓会の皆
 様には、口ごころから本校の
 教育活動に対して温
 かいご支援ご協力を賜
 り、心よりお礼申し上げ
 ます。

昨年5月30日に開催さ
 れました第一ホテル東京
 での東京同窓会総会・懇
 親会では大変お世話にな
 りました。

懇親会では、マンドリン
 演奏や平戸検定等で盛り
 上がり、中学・女学校・高
 校の校歌斉唱、エールで最
 高潮に達し、楽しい時間
 を過ごさせていただきました
 した。幹事の皆様方の準
 備・運営等のご苦労に感
 謝するとともに、出席され
 た皆様方の母校に対する
 熱い思いを感じ、その期待
 に応えるためにも平戸の

地で猶興館のますますの
 発展のため、力を尽くさ
 ねばとあらためて思っ
 た次第です。

さて、東京同窓会の皆
 様方には、ダンス同好会が
 全国大会出場の際には長
 年にわたり応援をいただ
 けていることに感謝申し
 上げます。平成27年度も
 温かいご声援をいただき
 ました。残念ながら入賞
 はありませんでしたが、わ
 ざわざ会場まで応援に駆
 け付けていただいた同窓
 会の皆様方に生徒たちも
 感激し、自分たちの最高
 の演技ができたものと思
 っています。応援ありがと
 うございました。

現在、猶興館は平戸・松
 浦地区の拠点校として、
 学習・部活動・学校行事等

に一生懸命取り組んでい
 ます。先輩方からの伝統
 を引き継ぎながら、さら
 に深化発展させ、新しい
 猶興館を創り上げようと
 頑張っています。

部活動では、前述のダン
 ス同好会以外にも、相撲
 部の個人、空手道部女子
 の団体、個人が九州大会
 全国大会に出場し、九州
 新人戦では相撲の個人無
 差別級で見事優勝、空手
 道部も個人3位と健闘し
 ました。他の運動部、文化
 部も着実に力を付けてき
 ており、今後の活躍が期
 待されます。体育祭、文化
 祭等の学校行事にもしっ
 しくお願ひします。

会費(改訂料金)

年卒	男性	女性
昭和59年卒以上	9000円	7000円
昭和60年卒~平成16年卒	2500円	2500円
平成17年卒まで	0円	0円

※別途、年会費は一律2500円です。
 ※注意:年卒とは卒業した年のことです。年度ではありません。

《《《 平成28年 猶興館東京同窓会「総会・懇親会」 》》》

開催日時:5月28日(土)12時~

受付:11時~ ●総会:12時~ ●懇親会:12時40分~15時40分まで

会場:「第一ホテル東京4F プリマヴェーラ」(昨年と同じ)です。住所:東京都港区新橋1-2-6 TEL.03-3501-4411

◆ご案内は事務局から郵送されます。ご不明な点は、事務局や同窓生にお問い合わせ下さい。
 今回は30~40代の皆様に多数ご参加いただけますよう子育て世代に配慮した、新たな会費を設けました。お問い合わせの上、ぜひご参加ください。猶興の輪を広げて一緒に盛り上がりましょう!!

とうとう来たぞ、幹事年!

園田 孝(昭和五八年卒)



5年ほど前にフェイス
 ブックを始めました。猶興
 館と検索してみると、びっ
 くりするほど沢山の人が
 いる。

一人、また一人と友達に
 なって頂き、今ではかなり
 の数です。そんな中、一人
 の先輩から東京同窓会へ
 の出席のお誘いがあり、何
 気なく出かけてみました。

受付を済ませると、あ
 りなげ園田君?ねえねえ
 園田君来たよ、おっ君
 が園田君か!と初めて会
 うのに先輩方は温かく迎
 えてくれました。

平戸っていいなと再

私は、5年後これをや
 らなきゃいけないんだな
 と思うと、なんとかしんない
 といけない、危機感を覚
 えたのでした。

私は同級生を集めるの
 にフェイスブックを活用し
 ました。今では58人の同級

生グループになり、その中
 から東京会や福岡会、佐
 世保会などが集まってプ
 子同窓会が開かれていま
 す。

卒業して32年。本当に
 卒業以来という顔ぶれも
 いる中、同級生とはいも
 んです。

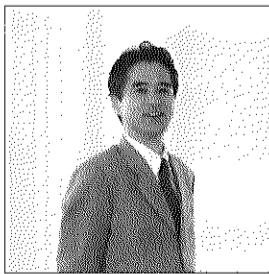
現在、毎月上野の平戸
 漁港で行われている交流
 会で、今年幹事年の57年
 卒の先輩方と話す機会が
 増えました。

平戸のこと、母校猶興
 館のこと、東京同窓会のこと
 を大切に考え思ってい
 る先輩達。その熱い思い、
 とても尊敬しています。

とうとうやって来た今
 年!来年の幹事年に向け
 て精一杯活動していこう
 と考えています。

ふるさとには遠きにありて思ふもの

相知 政司(昭和五八年卒)



初めまして、私は昭和
 58年に猶興館高校を卒業
 しました。相知政司(おお
 ち まさし)と申します。

現在は、千葉工業大学
 工学部 電気電子工学
 科の教授をやっております。

今回は、雷海編集長の
 小山様から、寄稿のお願い
 を頂き、私のような若輩
 者が浅学を顧みず、お引
 き受けしてよいものかと
 躊躇しましたが、最近、思
 うところがありお引き受
 けすることにしました。

まずは、タイトル決めで
 す。今回のタイトルは、皆
 様、ご存じの通り、室生犀
 星の『抒情小曲集』(大七)
 巻頭の詩「小景異情」その
 二の冒頭から、拝借しま

した。諸説あるようです
 が、一般的には、犀星は郷
 里の金沢で、この詩を詠ん
 だと言われている。

◆ ◆ ◆

私は、高校を卒業後、長
 崎市内で貧乏学生をして
 おりましたが、たまに平
 戸に帰ると、やはりふるさ
 とは良いなと思いつつ、3
 日も滞在していたら飽き
 てきて、早く都会に帰らな
 いと思っておりました。

その頃は、私は勉強も
 るくにせず、犀星は都会

にいて「ふるさとには遠きに
 ありて思ふもの」と詠んだ
 のだと勝手に解釈してお
 りました。

それが大学卒業後に就
 職して関東に出てきてみ
 ると、どうもなじみずに2
 年で就職した会社を辞め
 て、九州での仕事に転職し
 ました。この頃から、少し
 だけ犀星の気持ちが分か
 るような気がして来まし
 た。

ふるさとの平戸は、自然
 にあふれ、非常に良いとこ
 ろですね。

私の結論は、「どこに居
 ても良いので、常に故郷の
 ことを忘れずに、毎日を大
 切に生きる」です。

最後まで、読んで頂き
 ありがとうございます。

魅力あふれる「ふるさと平戸」の推進

平戸市長 黒田 成彦



猶興館東京同窓会の皆様方には、市政振興にご理解と温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはご家族お揃いで健やかで輝かしい日々をお過ごしのことと心からお喜び申し上げます。昨年、皆様方の総意をもって「平戸プライドスタート元年」と位置付けながら様々な施策を積極的に推進してまいりました。新平戸市制施行10周年を節目にふさわしい大きな飛躍の年となりまし

「至誠にして動かざる者」は、未だこれ有らざるなり。これは昨年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」で盛んに松陰が発した言葉だったが、見ていた方も多かったろう。

「至誠」は孟子から得た言葉で、「この上なく誠実なこと、まごころをいう。さてこの言葉「至誠を我が猶興館の生みの親、松浦詮公も帰省で猶興館を訪れた際、在校生に常に訓示した。

猶興館の典故でも知るように、山鹿流は特に孔孟の教えを聖学とし大切にしていた。

山鹿流を学ぶ藩には、主に平戸藩、津軽藩、赤穂藩、秋田藩などがあった。当時の学会では「中華思想」が一般的な中、素行は「中朝事実」を著しその中で「中朝主義」「日本中心主義」を唱え、日本回帰の哲学に到達する。

従来中国崇拝思想（中華思想）を自己批判し、日本中朝主義（天皇中心主義）への転向を述べている。幕府にとつては、最も世に出したくない一書ではなかった。

吉田松陰もこの書を手にした時のことを門人久保清太郎宛ての書簡で「中朝事実」遂に研究感激の至り」と書いています。

かの乃木希典は長州出身で、幼いころ松陰の叔父玉木文之進の養子となつて就学した。乃木は明治天皇の前御の時、殉死をするという事件がある。この時乃木は自ら発刊した『中朝事実』を裕仁親王（昭和天皇）に帝王学の一冊として奉呈している。

松陰も乃木も長州人であり、「山鹿流」を尊王精神の支柱としたのであろう。明治以降松浦家を中心として「素行会」が発足し、山鹿流の研究をしばしば行っている。



同窓会本部です。

東京同窓会のみならずとは、毎年5月に開催されます東京同窓会、そして8月に開催しています本部同窓会総会報告会。懇親会でお互い交流し、親睦を深めながら、本部運営にご協力いただいていることに対し厚くお礼申し上げます。

本部も会員名簿上、約2万8千余名の会員を有し、5月開催の決算総会、8月開催の総会報告会。

本年は「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録が現実視されていることに加え、秋には長崎県では初めての開催となる「第33回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム」に全国からロボット工学や物理学などの権威ある学者や技術者が一堂に会することや、全国健康福祉祭ながさき大会「ねんりんピック2016」のゲートボール競技の開催など国内から多くの来訪者をお招きすることが予定されています。

現在、人口減少を食い止めるための平戸市総合戦略を策定しております。このような平戸市の持てる幾つもの可能性に磨きをかけ、全国的にも高い評価を受けながらその価値をさらに広げることによって多くの平戸ファンを増やし、平戸に生まれ、あ

きをかき、全国的にも高い評価を受けながらその価値をさらに広げることによって多くの平戸ファンを増やし、平戸に生まれ、あ

きをかき、全国的にも高い評価を受けながらその価値をさらに広げることによって多くの平戸ファンを増やし、平戸に生まれ、あ

きをかき、全国的にも高い評価を受けながらその価値をさらに広げることによって多くの平戸ファンを増やし、平戸に生まれ、あ

吉田松陰と山鹿流と平戸について

浦部 知之(昭和五五年卒)

は19歳で山鹿流兵学師範となり、更なる学業の向上のために藩外遊学を思う。そこで最初に平戸訪問を思い立った。平戸藩には山鹿流の宗家があり、盛んに私塾講義が公開されていたからだろう。

松陰は嘉永3年(1850)8月25日秋を出立。長崎を経て平戸に至る。この時はまだ吉田大次郎と名乗り、21歳の青年であった。(以後は松陰と記述)

松陰は親交があった下関の伊藤静斎の仲介で、平戸藩重臣で儒学者でもあった葉山佐内を紹介されている。佐内は当時60歳を超えた年齢(不詳)であった。

佐内は平戸に遊学した松陰の才知を瞬時に知り、その人柄も愛された。松陰もまた佐内を「平戸の老師」として思慕している。

松陰は佐内について「西遊日記」に「先生は誠実で、人のために行動するがそれにも満足せず、うわべをとどろくろくすることも無い」と、佐内の人柄に感銘している。

松陰は、佐内の紹介で城下の「紙屋」に下宿、9月14日から11月6日まで53日間平戸滞りする。滞り中に読破した書籍は約80冊。しかも謄写や要約の抄録をしながらの読破であった。

松陰が読んだ書籍のほとんどが佐内の蔵書であるが、佐内以外にも訪ねた平戸藩士達から借書している。特に平戸藩砲術師範の豊島権兵衛とは自らの課題でもあった「砲術」について論議している。

松陰は到着のその日に佐内より「傳習録(陽明学)」「遺備摘案(へんびてきあん)」を借りて謄写する。この時松陰は、「傳習録」を読んで、「学問は何よりも立志が専一」という学問への向き合い方に感銘し、子弟教育の基としていた。

松陰は、秋藩を抱える海防の問題点と対策を、平戸遊学に見出そうとしている。江戸後期、平戸近海には異国船が出没し、平戸藩でもその対応策が急がれていた。

松浦清静山(公)砲術家を招いて藩士に砲術の研究を行わせ、砲兵を要所に配備するなど警戒を怠らなかつた。特に海外情報の手には腐心したようだ。

そんな中、佐内が海外情報と国内の事情とを考察し、今後の日本のあるべき姿について論述したのが『遺備摘案』であった。

松陰は書き終わったばかりの『遺備摘案』(嘉永3年2月起草)を借りて、謄写した本に松陰の書評を朱書したという。佐内は大いに喜び、自身の書にも書いてくれるよう頼んでいる。

佐内は『遺備摘案』においてアヘン戦争後の海防を論じた和漢の書籍の検討を行い、それぞれの完備しない点を補って佐内の考えを著している。

佐内曰く、「西欧諸国の威圧に負け、その要求のままの開国は、国家の主権を放棄し、諸外国の侮りを招く。ひいては将来の独立国家としての危険を招くもので、我が国は一旦攘夷の方針をとり、その上で海外の優れた技術や学問を取り入れ、富国強兵の後、自主的な開国をしなければならぬ」と述べている。

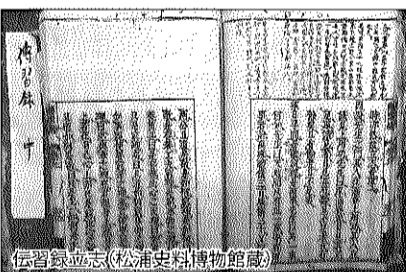
また、「外夷の脅威ばかりにとられ、治世を怠れば、必ず異国に隙を突かれる」と警鐘をならしている。

佐内は『遺備摘案』の冒頭で、「天啓の遺世界也一視同仁、故濬哲英雄或生草莽、或起遐荒(世の優れた人材は、身分に関わらず、世界の至る所に英雄が出現する)意識」

「草莽(そうもう)」「(在野の意)は孟子に典拠するが、松陰が何時の時点でこの「草莽」の考えに至ったかは不明だが、安政6年(1859)4月7日(野山獄中)に友人北山安世に宛てた書状に「草莽崛起(そうもうつき)」が見える。(同年10月24日江戸伝馬町の牢屋にて斬首されている。)

「在野の志あるものは立ち上がれ」という意味で、松陰の弟子久坂玄瑞(くさかげんずい)が土佐藩の武市半平太(たけちはんぺいた)に宛て、坂本龍馬に託した書簡にもある。葉山佐内との交流において覚悟したかに見える松陰は、平戸遊学を終えて亡くなるまでの僅か10年、まさに歴史を駆け抜けた。

※参考文献
『平戸市史研究 吉田松陰の平戸遊学再考 西山善雄』、『平戸の光』その他



遺備摘案(松浦史料博物館蔵)

お仕事や日々の暮らしの「万が一」に備えるために!!

お客様の立場に立って 保険のプロが理想のカタチをご提供いたします。

三井住友海上火災保険(株)
三井住友海上あいおい生命保険(株) 代理店

株式会社
松元保険事務所
代表取締役
松元 貴昭(昭和49年卒)

〒193-0813 八王子市西谷町613-5
共立リアライアンス西谷V B-503
TEL.042-627-3190 FAX.042-627-3191

アメリカンスクールで学ぶ
IES英会話(幼児~成人)

- ◆IES英会話教室(幼児~成人)
- ◆首都圏・名古屋20校
- ◆海外・国内サマースクール主催
- ◆公立小・中学校へのALT(英語指導助手)派遣
- ◆企業内英語研修コースの企画・講師派遣

明日の国際人を育てて41年

IES国際教育システム(株) 〒106-0044港区東麻布2-6-5タトルビル
代表取締役 大石郁夫(昭和41年卒業)

TEL.03-3586-5211 FAX.03-3586-5332
HP→<http://www.ies-english.co.jp/>

創業120年 平戸伝承の味
林水産

当店自慢の品
いりこ・あご・旬あじのひもの・するめ他
全国発送可

林水産
代表: 林 征男(昭和35年卒)

〒859-5121 長崎県平戸市岩の上町1383
TEL.0950-22-2408 FAX.0950-26-0051
<http://www.yakiago.com> E-mail:info@yakiago.com

自分の本を「商業出版」しましょう!

300冊の実績
商業出版

持ち込み成功率5割前後です。
【実績:月間3~4冊出版!】

スタートから6ヶ月前後で
あなたの本が全国書店店頭!

商業出版までのプロセス

- 1 企画書を書く
- 2 インブルーでチェック
- 3 企画書をUP
- 4 インブルーが出版社に売り込み
- 5 好感触の出版社と打合せ
- 6 企画会議にて検討いただく
- 7 企画通過
- 8 執筆
- 9 そして、出版! あなたの本が書店に並び!

あなたからのオファーを待っています!

インブルーHP▶ <http://www.impruve.com/>
検索は「書籍コーディネーター」か「インブルー」

有限会社インブルー 代表取締役 小山睦男(S50年卒)
〒351-0115 埼玉県和光市新倉1-20-15-809
電話&FAX: 048-462-6501 Mail: info@impruve.com

叙勲の栄に浴して

中瀬 静登(昭和四二年卒)

皆様お健やかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

同窓の増山義也氏と編集委員長より「雷海」へ何か書けという御用命、謹んでお引き受けをしましした拙文です。

平成27年春の叙勲において瑞宝双光章を拝受し、県より伝達・皇居豊明殿にて天皇陛下に拝謁し、芳いのお言葉を賜りましたことは、私ども夫婦にとりまして終生忘れることのできない身に余る光栄

土と語り、土と遊ぶ

石川 文世(昭和四二年卒)

陶芸教室に入会して、たもの、一年くらいは本当に散々なものでした。

焼き物がどのような工程を辿りてき上がるのかに興味があったのですが、一番最初にしなければならぬ土捏り(土の中の空気を抜くためにこねる)が思うようにできない、焼いた物が歪になってしまう、釉薬(つわぐすり)の掛け方が下手で色調が悪い、おまけに手に持つと重い、



等々。肥前有田を中心とする磁器物で生活してきた者にとって、陶器の扱い方にはなかなか馴染まなかったのです。

けれども2年目から電

動口口による形成訓練に入っていると、もちろん難しさも沢山ありました。ある時期を境に俄然、楽しいと感じるようになり、徐々に大きな作品にも挑戦してみました。

その後、全陶展という大きな公募展に出品。昨年まで連続28回入選。この会の38回展(昨年は46回展)で文部科学大臣賞の栄誉を受けることができました。

その2、3年前から、当時100歳を目前にしていた母への感謝の気持ちを表現したく、カーネーションをモチーフにした作品に取り組んでいて、「想い」という題名で出品したものでした。

陶芸との出会いは私の人生に多くのものをもたらしてくれました。まだまだ体力の続く限り、作陶を深めて行くつもりです。



保険など、できるだけ使わないように実践中(医療は重要)。他者に回すことができないというのはいじやないですか。... 我にはたらく仕事あれそれを仕遂げて死なむと思ふ。(啄木)

元(公社)静岡県放射線技師会 会長(現 名誉会員)
元(一財)富士脳障害研究所付属病院放射線技術部 技師長
特定非営利活動法人防災士認定(防災士登録番号013976号)
静岡県ふじのくに防災士認定(第0216号)
(一財)静岡県サッカー協会・富士宮サッカー協会 監事

ふだんぎ親睦会報告：東京同窓会を顧みて

岩崎 勝也(昭和三十三年卒)

「雷海」への寄稿依頼を頂き、正直戸惑いを感じていました。今更の感もありませんが、会長、顧問と同窓会に携わってきた今、同窓会をまず顧みてみたいと思えます。

当同窓会は昭和26年「うしお会」から始まり「猶興館同窓会」東京支部「猶興館東京同窓会」と歩んできて現在に至ったわけだ。

私自身昭和39年に上京し同窓会の一員となり半世紀が過ぎました。創立130年の年、会長に就任し2期にわたり携わってまいりまして、現会長大石氏に後を託しました。

報告

親睦ゴルフ会担当 松尾 壽弘 S41年卒



今年参加者の皆さん

No.	氏名	卒年
1	久保 雄	31年
2	岩永 美隆	32年
3	吉原 光夫	32年
4	戸村 旭	35年
5	田中 亨	36年
6	吉住 博之	37年
7	下條 義章	37年
8	金子 典雄	38年
9	松田 邦郎	41年
10	池田 正一	41年
11	松尾 壽弘	41年
12	岡村 光規	44年
13	小野 芳裕	44年
14	野田 明邦	45年
15	山口 浩	46年
16	三輪 毅	54年
17	田上 謙一	60年
18	松永 定義	元年

平成27年第16回猶興館東京同窓会親睦ゴルフコンペ報告

2000年(平成12年)に第1回大会を開催して、以来毎年1回実施し、今回は16回目の大会となりました。ゴルフは年齢・性別・体力・腕前に関係なく一緒にプレーし、楽しめるゲームです。今後とも多くの方の参加で、懇親を深めつつ、継続して開催出来るよう希望しています。

実施報告

1. 期 日: 平成27年10月29日(木)・晴れ 8:00~8:30集合・受付、9:00スタート
2. 会 場: 季美の森ゴルフクラブ(千葉県大網白里市)
3. 参加者: 18名(5組) / 昭和31年卒(9年生まれ)~平成元年卒(45年生まれ)東京5名、千葉6名、埼玉4名、神奈川2名、茨城1名
4. 結 果: 優勝: 金子典雄氏(38年卒)、二位: 野田明邦氏(45年卒)、三位: 小野芳裕氏(44年卒)
5. 賞 品: 平戸特産品、食品、ゴルフ用品等

★次回(今年)予定は、平成28年10月27日(木)です!



長崎県平戸市公認居酒屋

長崎県 平戸漁港 六次朗

03-3831-6568

〒110-0005 東京都台東区上野6-16-7 イトウビル1F

かつて国際貿易港として栄えた長崎 長崎平戸の地に、いま

“開国浪漫の癒し宿”誕生!!

さあ、時を越えて癒される開国浪漫という非日常の世界へ。

◆日本で初めて西洋と貿易した元祖「和洋同魂」のハイブリッド風土に佇む平戸の代表的なリゾートホテル「平戸海上ホテル」。

◆エントランスを通り抜けたその瞬間に、異人たちが行き交ったあの航海時代の平戸へとタイムスリップする感動劇がゆっくりと幕を開ける。

浪漫のほとろ、和・蘭のかおり

RH平戸海上ホテル

ご予約・お問い合わせ ☎0950-22-3800
〒859-5102 長崎県平戸市大久保町 2231-3

居酒屋 鬼平

「猶興館高校卒業生の憩いのオアシス」

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-20 小泉ビル2F

TEL 03-3354-2480

代表取締役 井筒克己

長い歳月を重ね継承・奥の深い知恵と技

∞∞平戸の大自然を心を込めて∞∞ SINCE1688

- ①32回目の最高位 『金賞』の実績を添えて
- ②全日空国際線ファーストクラス採用(平成23年)
- ③IWCワインチャレンジ(ロンドン) ブロンズ賞2回、大会推奨酒として認定

福鶴じゃがたらお春博物館(平成8年5月2日開館)

福田酒造株式会社

【平成二八年度総会・懇親会のご案内：年次幹事としての想い】

猶興館東京同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。さて、本年度総会・懇親会のご案内を申し上げます。私ども昭和57年卒生が、今年度の年次幹事を受け持ち、これまでの総会・懇親会をベースに、さらなる卒業生が集い、親睦や交流を深めるために幹事会や分科会、諸先輩方のご協力のもと、「挑戦の年」と捉え、新たな試みで取り組んでまいります。

現状の郵便を中心としたご案内に加え、ホームページ、SNSによる活用・声掛け、若年層が参加しやすい会費の見直しなどを行います。世代間を越えた親睦や交流が深まるように、懇親会懇親会の内容もより活発に積極的に参加できるように、タイムスケジュール配席などを見直し、年次幹事の業務を幅広くスムーズに引継ぎできるように、昨年度年次幹事を務めた昭和56年卒の先輩をサポーター幹事、二学年後輩の昭和58年卒の皆様にプレ幹事として、三学年体制の年次幹事にすることで新たな試みを推進してまいります。

今年、次期年次幹事担当学年として、幹事会や若手交流会などの参加を通じて、世代間を超えた交流の大切さや諸先輩方のご苦労を実感するにつれ、郷里を離れた東京での同窓会の大切さが改めてわかりました。これまで東京同窓会を継続されてきた幹事会、諸先輩の献身的な活動や熱意に

敬意の念を抱き、微力ながらお手伝いができればという思いこそが、我が輩の原動力です。「若年層の方々がさらに参加しやすい環境」「世代間を超えた会員同志の交流や親睦を深める」さらには「母校への寄与」これらを大きな目標として、開催したいと考えております。

ふるさとから遠く離れた暮らす私たち卒業生にとって、頼もしい灯台のような猶興館東京同窓会。その灯りに導かれるように多くの卒業生にお集りいただけることを、年次幹事一同、心よりお待ちしております。

わが猶興館東京同窓会が、これからも頼もしい灯台の灯りのような存在であり続けることを願ひ、未永く盛り上げたい、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。最後にお断り申し上げます。お待ちしております。

昭和57年卒代表 佐志哲郎



昭和57年卒代表 佐志哲郎

平成二七年度・猶興館東京同窓会「総会・懇親会」の報告

昨年5月30日(土)恒例の同窓会・懇親会が東京・新橋の第一ホテル東京で開催されました。懇親会は同窓会の第一声から始まり、松口ようこさんのミニライブ、新座マンダリンクラブの演奏、平戸検定クイズとバラエティに富み、盛況のうちに閉会となりました。

準備の始まりは2年前の原稿依頼からでした。その後、同期メンバーの確保、ホテルとの打合せ、予算の編成、イベント、物産販売等、関係者との打合せを重ね準備しました。イベントの新座マンダリンクラブの演奏について、同期の佐々木博君が

部長を務めており全てを委ねました。これによりイベントの心配が減少し、他の企画へ集中することができました。

この紙面をお借りしてあらためて、関係者の皆様にお礼を述べたいと思います。

①司会/松永君・野田さん②松口ようこさんのミニライブ/松口さん③原副幹事長④マンダリンの演奏/佐々木博君⑤クラブメンバー⑥平戸検定クイズ/瀬戸先輩⑦前日・当日の準備⑧受付⑨物産販売⑩当日の運営等々ご協力をいただいた先輩・後輩・同期メンバーの皆様⑪当日参加の同窓

魚淵 清孝 昭和五十六年卒

総会・懇親会のご案内

平成二八年度 猶興館東京同窓会 総会・懇親会

開催日 5月28日(土)

会場 第一ホテル東京 4F プリマヴェーラ

時刻 受付 11時00分より 総会 12時00分より 懇親会 12時40分より 終了 15時40分

参加費 (改訂料金) 昭和59年卒以上50歳 男性9,000円 女性7,000円 昭和60年卒 平成16年卒 30歳 49歳 男性2,500円 女性2,500円 平成17年卒まで20歳 男性無料 女性無料

※注意：年卒とは卒業した年のことです。年度ではありません。※別途、東京同窓会年会費は、25,000円。年会費の大幅割引は従来通り。

猶興館東京同窓会 平成27年度会計中間報告書(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

会計幹事 井手口 祥吾 昭和48年卒 平成27年度の中間報告(12月31日現在)を以下の通りご報告いたします。 単位:円

Table with 6 columns: 科目, 予算額, 実績額, 科目, 予算額, 実績額. It details the financial performance of the association for the 27th fiscal year, showing income and expenses.

平成27年度総会親睦会収支決算報告書 単位:円

Table with 4 columns: 科目, 決算額, 科目, 決算額. It details the financial results of the 27th annual meeting and reunion, showing income and expenses.

平成27年度猶興館東京同窓会会務報告 幹事長 増山 義也 昭和42年卒

- 1. 平成27年度総会・懇親会の開催及び案内状配布範囲の拡大
平成27年5月30日(土)新橋の第一ホテル東京4階プリマヴェーラで開催しました。218名の多くの出席者で盛会になりました。懇親会は、56年卒の会員が中心になり和やかな雰囲気の中で行われました。新座マンダリンクラブの演奏と松口ようこさんのライブがあり、テーブル席別対抗の「平戸検定クイズ」で会場全体が大変盛り上がりました。なお、新しい試みとして案内状の配布範囲を関東一円の会員に加えて兵庫県(関西~北海道)の35年以降の卒業生に拡大して送付しました。東京同窓会の皆様に従来より多くの新たな卒業生の方々と旧交を温める機会を提供しました。
2. 年会費納入の皆様に御礼
平成27年度年会費納入者数は、338名で昨年比14人増(+4.3%)となりました。このように多くの会員の皆様から貴重な年会費の納入があります。会員の皆様のご協力に心から御礼申し上げます。大切な年会費は、東京同窓会の発展のため有効に使わせていただきます。
3. 名簿のメンテナンス
平成27年の案内状は、2399通発送の内149通が転居先不明等で戻りました。(約6%)名簿の充実経費の節減の面からも重要であり、情報を集めてさらに精度を上げたいと思っております。
4. 「在京長崎県下高校同窓会代表者の集い」に出席
平成27年11月20日(金)三田の笹川記念館で28校81名の代表者が集まり、同窓会運営方法、取組方、活性化等意見の交換をしました。今後の東京同窓会の運営等に生かしたいと思っております。
5. 「全国高等学校ダンスドリル選抜大会」の応援
平成27年7月31日(金)千駄ヶ谷の東京体育館で開催され、東京同窓会から8名の方々が応援に行きました。後輩達が地区予選を勝ち抜き、緊張する中見事なダンスの演技を披露しました。
6. 活動
【ふだんぎ親睦会】
平成27年11月7日(土)「第15回ふだんぎ親睦会」は15名の参加者で「井の頭自然文化園」の彫刻館を見学しました。ここでは、島原出身の彫刻家北村西望が制作した長崎の「平和記念像」の原型を展示しています。見学後、芝生の上やテーブル席に座り持ち寄った料理等で参加者全員お昼を楽しみました。
【ゴルフ会】
平成27年10月29日(木)に「第16回親睦ゴルフコンペ」を季美の森ゴルフクラブ(千葉県大網白里市)で開催し5組18名の方が参加されました。金子典雄さん(38年卒)が素晴らしいプレーで優勝しました。ゴルフは年齢・性別・体力・腕前に関係なく一緒に楽しめるゲームですのでどうぞ多くの方のご参加をお待ちしています。尚、今秋は平成28年10月27日(木)に開催します。

《年会費納入のお願い》

猶興館東京同窓会の運営は、会員皆様の年会費でまかなわれております。案内に機関紙「雷海」の制作費をはじめ、総会・親睦会の案内状の作成および郵送費などに使われており、同窓会を通じて皆様に再会と感動を元気に与える場となるよう運営して参ります。同封の振込用紙で年会費2500円の納入をお願いいたします。皆様方と総会・親睦会でお会いできることを、楽しみにしております。

—同窓会総会、懇親会への参加のお願い—

まず、本同窓会誌「雷海」への寄稿、運営にご協力頂いている皆様へ御礼申し上げます。5月28日の開催の猶興館東京同窓会へ、同期の方、先輩、後輩の方々と声をお掛け合わせ参加いただけますよう、幹事一同お待ちしております。今年、結束力の強い57年卒の年次幹事の皆さんが『新企画を練って』皆様をお待ちしています。『ご期待を』。 広報担当 昭和50年卒 末吉 誠

編集後記

今年もやってきました！猶興館東京同窓会の季節。早いですね。今年もまた、快く原稿依頼を受けてご寄稿をお寄せいただきました皆様、本紙発行に際してご協力を賜りました経営者様のお陰をもちまして、無事に発行できます。コロナウイルス柏橋社長(印刷)にもまた、ご無理を聞いて頂き心より感謝です。次回も寄稿希望者募ります。どしどし編集までご連絡ください。これからは皆様に面づくりに向けて、ニヤッ、オヤッとしていただける紙面づくりにいそしみます。やっとな雷海編集長2年目の小山睦男(S50年卒)カンレキ！でした。 雷海編集長 昭和50年卒 小山 睦男

《猶興館東京同窓会 平成28年度役員・幹事名簿》

平成28年1月 現在

Table with 3 columns: 役名, 氏名, 卒業年次. It lists the officers and staff members for the 28th fiscal year, including the president, vice president, and various committee members.